



ちばりは ニュース

2017年8月 発行 第29号
千葉県千葉リハビリテーションセンター 広報誌



〒266-0005
千葉市緑区誉田町1-45-2
TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857
ホームページアドレス
<http://www.chiba-reha.jp/>

千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

理念

「誰もが街で暮らすために」

Everybody will be in own town

・私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します・

基本方針

利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。

日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。

地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。

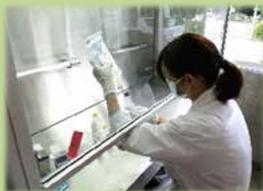
知っているようで知らない？

薬剤師のお仕事を紹介します！

センター正面玄関を入ってすぐの位置に薬剤部があります。皆様からもよく見える場所に居るセンターの薬剤師ですが、どんなお仕事をしているのでしょうか。「調剤」「薬剤管理指導」の2つの業務を中心に薬剤師のお仕事を覗いてみましょう！

調剤

主に入院患者の皆さんのお薬を調剤しています。医師からの処方せんに従って調剤をしますが、その際に患者さんの年齢や性別から薬の量や種類が適正かどうか、相互作用（複数の薬の飲み合わせで起こる作用）のある薬が処方されていないかどうかチェックしています。



当センターでは、専用の機械を用いて錠剤やカプセルを一回分ずつに包み直して調剤しています。また、麻痺などで錠剤やカプセルが飲み込みづらい方も多いので、そのような方には、粉碎をしたりカプセルを外したりして患者さん一人一人に合わせた調剤を行っています。



1回分をひとまとめに！

薬剤管理指導

入院患者さんのお薬について、どんなお薬を飲んでいるか、いつ・どれくらい飲むかなどの飲み方の確認や、注意しなければならない副作用、相互作用について直接患者さんの所に行きご説明しています。その際には、アレルギー歴や嗜好品（健康食品等）をお聞きしてお薬と飲み合わせて問題ないかチェックしています。

また、入院時に持参されたお薬についても、それらと当センターの出すお薬と相互作用はないかチェックしています。



入院時に面談を行います

各病棟のほか更生園でも指導を行っています



このほか、チーム医療の一員として多職種協働の委員会への参加など、患者さんの見えない所でも活動しています。センターでは5人の薬剤師が勤務し、患者さんの薬に対する不安を無くせるように、お話によく耳を傾けて、親切な対応を心掛けています。薬のことでお困りの事があれば、ぜ

第17回千葉リハセンター公開講座

7月8日(土)に千葉リハビリテーションセンター公開講座を開催しました。17回目の開催となる今回は、「動いて実感!感じて納得!リハビリテーション」というテーマで、**リオデジャネイロパラリンピック ボッチャ銀メダリスト 廣瀬隆喜選手とのトークショー**のほか、**センター内見学ツアー**や**展示体験企画**といったセンターの取り組みを見て感じられるプログラムを実施しました。

廣瀬選手のトークショーでは、ボッチャとの出会いやパラリンピックでの裏話、海外遠征生活、ボッチャに対する目標など、幅広いテーマをお話いただきました。ボッチャのデモンストレーションでは、トップアスリートならではの“スペシャルショット”を披露いただき、会場は大盛り上がりとなり、改めてメダリストの凄さを実感しました。さらに、トークショーの終了後は廣瀬選手の協力によるボッチャの体験会を実施しました。



「センター内見学ツアー」では、リハビリ室・三次元動作解析室・調剤室などを巡って、普段見ることのできないセンター内部をご案内し、さらに「展示・体験コーナー」では、ロボットリハビリ体験や栄養機能食品の試食など、センターでの様々な取り組みを知っていただきました。当日は真夏日でしたが、昨年を上回る136人にお越しいただきました。次回の公開講座でも、千葉リハセンターのことを「動いて実感!感じて納得!」していただける企画を考えたいと思います。



1ページでご紹介した薬剤部の調剤室の中もご覧いただきました。



参加者の皆さんの感想(アンケートより)

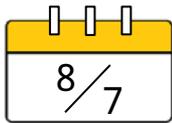
普段は見られないリハビリ室を見ること

調剤で使う機械やその使用方法が興味深

ボッチャの体験が楽しかった!

リハビリについてもっと詳しく知りたいと思いました

楽しい夏の思い出



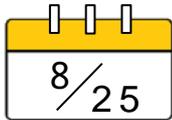
プロのパフォーマー公演 「アフリカの熱い風」



この日は、子ども劇場千葉県センターが実施する「病気と向き合う子どもが笑顔になる贈り物事業」として、B・B・モフランさん、ダウディ・ジョセフさん、当間典子さんの3人をお招きしてセンター大ホールにて公演を行いました。

ステージでは、「ジャンベ」や「トーキングドラム」と呼ばれるアフリカの伝統楽器を使って、民族音楽を演奏して頂きました。参加した子ども達もタンバリンやマラカスを曲に合わせて鳴らしたり、モフランさん達による振り付けを保護者・職員も巻き込んで一緒にやってみたりと、皆で盛り上がる楽しいステージとなりました。

エネルギッシュな打楽器の演奏のあとは雰囲気が変わり、ギターとピアノを使用した弾き語り、天使を意味する「マライカ」というバラードの曲も披露して頂き、この時は皆ゆっくりとそのメロディに耳を傾けました。合わせて1時間余りのステージでしたが、まさに熱い風が吹き抜けるようにあっという間に感じる時間でした。



第27回 センター夏祭り

毎年恒例のセンター夏祭りを今年も開催しました。前半のステージでは、この夏祭りの為に結成した「しまうまぐるぐるZU(ず)」の皆さんによる楽器の演奏が行われ、誰もが知っている曲から最新のヒット曲までバラエティ豊かな選曲で皆さんを楽しませて頂きました。盆踊りでは「太鼓どんどこ」の皆さんによる和太鼓の音に合わせて、みんなで楽しく踊りの輪を作りました。そしてお待ちかねの職員による仮装大会には6チームが登場し、それぞれ工夫を凝らした出し物を披露しました。審査員による審査と参加者の皆さんの拍手の音量の大きさによって選ばれた優勝チームは、愛育園2BC棟チームでした。

大ホールの外の廊下には模擬店が並び、それぞれ長い列が出来上がる横を、威勢の良い掛け声とともにお神輿が練り歩き、センター内が楽しいお祭りの雰囲気に包まれた一日となりました。



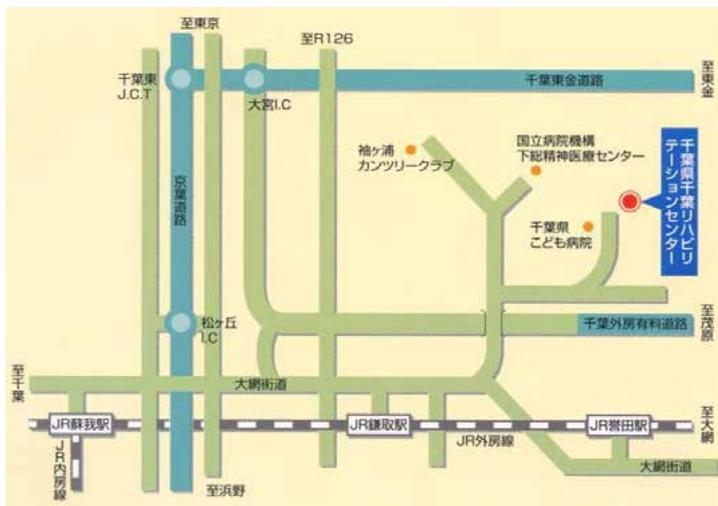
第13回高次脳機能障害リハビリテーション
千葉懇話会開催のお知らせ



日時：9月29日（金）19:00
場所：千葉市民会館小ホール

13回目の開催となる今回は、一般社団法人クオルトン研究所の松田啓一先生をお招きし、高次脳機能障害者の職業リハビリテーションと就労支援についてお話しいただきます。

センター案内図



イベント開催のお知らせ

第15回脊髄損傷リハビリテーション講習会
「脊髄損傷者の生活を豊かに」

日時：11月18日（土）10:00～12:00
場所：千葉リハビリテーションセンター大ホール
講演1 脊髄損傷の基礎と千葉県内の現状
（講師：千葉リハビリテーションセンター長 吉永勝訓）
講演2 脊髄損傷の慢性的な痛みの原因と対処方法
（講師：千葉リハビリテーションセンター副センター長 菊地尚久）
今回の講習会は「第52回日本脊髄障害医学会」（11月16日（木）～17日（金）：三井ガーデンホテル千葉にて開催）の市民公開講座の一環として行います。



車のご利用

- 千葉東金道路 大宮インターから約10分
- 京葉道路 松ヶ丘インターから約25分

電車・路線バスのご利用

- JR外房線鎌取駅北口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行約9分
- JR千葉駅東口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行約40分（土曜・休日のみ）

無料送迎バスのご案内

平成26年8月1日改定

（センター JR 鎌取駅 循環運行）

JR 鎌取駅北口発 千葉リハビリテーションセンター行き 千葉リハビリテーションセンター発 JR 鎌取駅北口行き

時	平日	土曜日
8	10 30 50	10 30 50
9	10 30 50	10 30
10	10 30 50	20 40
11	10 30 50	00 20 40
12	10 30 50	40
13	10 30 50	
14	10 30 50	
15	10 30 50	
16	10 30 50	
17	10 40	

時	平日	土曜日
8	03 23 43	03 23 43
9	03 23 43	03 23
10	03 23 43	13 33 53
11	03 23 43	13 33
12	03 23 43	33
13	03 23 43	
14	03 23 43	
15	03 23 43	
16	03 23 43	
17	03 33	

センター送迎バス発着場所について
鎌取駅発・・・鎌取駅北口ロータリー付近
（専用のバス停はございません）
センター発・・・センター正面玄関前
車椅子ご利用の乗車定員について
中型バス（黄色）・・・2名
マイクロバス（水色）・・・3名
日曜・休日は運休となります。
道路混雑等により遅延する場合があります。